

○狭あい道路整備等促進事業

国の補助事業を有効に活用し、4m未満の道路の拡幅工事を行います。

○笠間地区市街地浸水対策事業

局所的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）などの水害に対応するため、排水整備事業を実施し、安全で安心なまちづくりを進めます。

○水道施設整備計画策定事業

浄水・配水施設等の耐震診断および機能調査を実施した結果を基に、市全体の配水計画、老朽施設の更新計画を備えた総合的な水道施設整備計画を策定し、中長期の施設更新及び財政計画を立て、水道事業の安定経営を図ります。

○石綿管（老朽管）更新事業

石綿管等の老朽管更新および耐震化を推進し、安心・安全な水の安定供給を継続的に実施します。約10年間の実施計画（年間目標1〜2km）での更新を図ります。

○鉛製給水管解消事業

鉛製給水管の解消対策として、計画的な調査・布設替を推進し、漏水の防止及び安心・安全な水の供給を図ります。

○下水道長寿命化計画策定事業

供用開始から20年を経過する公共下水道施設の下水道長寿命化計画を策定し、施設の延命やトータルコスト

トの削減を図ります。

○公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽整備事業

公共下水道施設と農業集落排水施設の整備を進めます。また、茨城県の森林湖沼環境税を活用しながら、環境保全へ向けて公共下水道や農業集落排水への接続、合併処理浄化槽の設置を推進します。

○笠間の家活用事業

日本を代表する建築家「伊東豊雄」氏設計の「笠間の家」（旧里中英人邸）を地域活性化の拠点として再生し、都市住民と市民、市内作家の交流を図ります。



笠間の家

○定住化促進事業

空き家の利活用を進めるため「空き家バンク」の創設と、空き家修繕や移住者への支援などを制度化し、

定住化の促進を図ります。

○地域おこし協力隊事業

「地域おこし協力隊」として都市圏から本市への移住希望者を受け入れ、地域活性化の提案や取組みを実施します。

○民間交番設置運営事業

地域の新たな防犯拠点として民間交番を設置し、安全で安心なまちづくりを目指します。

○学校統合準備会事業

統合の対象となる学校・保護者・地域関係者等で組織する学校統合準備委員会を組織し、統合対象校同士の事前交流の内容やスクールバス運行の詳細、通学路の安全対策など、多岐にわたる協議を進めます。

○学力向上支援事業

市内すべての小中学校に授業支援講師を配置し、きめ細かな教科指導により学力向上を図ります。

○寺子屋事業

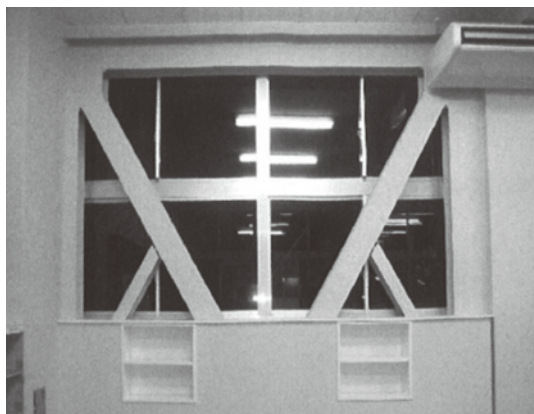
子どもたちの活動や学びの機会づくり、学習の場づくりを推進するため、毎週土曜日に小学5・6年生を対象とした学習指導を、3地区の公民館において実施します。



寺子屋事業

○小・中学校施設環境改善事業（耐震化）

安心安全な学校づくりを推進するため、稲田中学校の校舎と岩間第一小学校、岩間第二小学校、佐城小学校の体育館の耐震補強・改修実施計画を実施し、学校施設の耐震化を推進します。



耐震補強が施された教室

